

水辺活動

プログラム名	囲い網			
概要	グループで協力して魚を追込み、網を上げて魚を取ろう。			
ねらい	浜名湖の環境や生物の良さや水に親しむ体験ができる。			
条件	対象	特別支援学校 障がい者団体等	人数（指導者人数）	～50人
	活動目安時間	90～120分程度	活動時期	6～10月
	活動場所	マリーナ広場、ハーバー	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 軍手、飲料、タオル、着替え、濡れてもよい服、帽子、濡れてもよい靴、日焼け止め (貸出) ライフジャケット、水槽、追込み用の竿、図鑑			
安全上の留意点 (対策方法)	熱中症、脱水症状（適度な休憩や水分補給、帽子着用の徹底） 貝殻、漂流物でのケガ（靴や軍手の着用） スロープでの転倒（水際は苔で滑りやすいと注意喚起） 毒のある生き物やカニによるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告） 溺水（ライフジャケット着用の徹底）			
活動内容（手順）				
<p>事前①指導者配置の決定：所定の「囲い網 チェックシート」を作成、提出</p> <p>②グループ編成：東棧橋（最大5名）、南棧橋（最大10名）、中央棧橋（最大8名）でグループを決定。それ以上の人数になる場合はローテーションを組み活動する。</p> <p>③下見の実施：ハーバー内、危険箇所の把握</p> <p>④実施方法の決定：活動内容や時間、休憩時間の設定</p> <p>⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物確認、スロープ内が滑りやすいことを周知</p>				
<p>活動前①打合せ（活動10分前）：艇庫で所員と団体責任者、担当指導者と実施</p> <p>実施判断：気象を基に、協議の上決定（当日の天候・気温・水温・風速・風向など）</p> <p>確認事項：人数、グループ、健康状態、配慮事項、服装、活動手順</p>				
<p>活動①指導：所員より</p> <p>囲い網の説明→移動→棧橋で再度説明</p> <p>②活動開始：竿で水面をたたく → スロープへ移動 → 網を上げる → 観察 → 感想・振返り</p> <p>③確認事項：人数、健康状態</p> <p>④まとめ・振返り：活動の感想を発表</p> <p>⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰と清掃</p>				

<その他>

※スロープ、ハーバー内は必ずライフジャケットを着用すること。

※観察時は熱中症対策のため、ライフジャケットは着用しない。

★毒のある生き物として、主に、赤クラゲ、オコゼ、アカエイが挙げられる。

◆赤クラゲに刺されたら…海水で患部を洗う→ゴム手袋をしてピンセットで触手を取る→熱いお湯



赤クラゲ



オコゼ

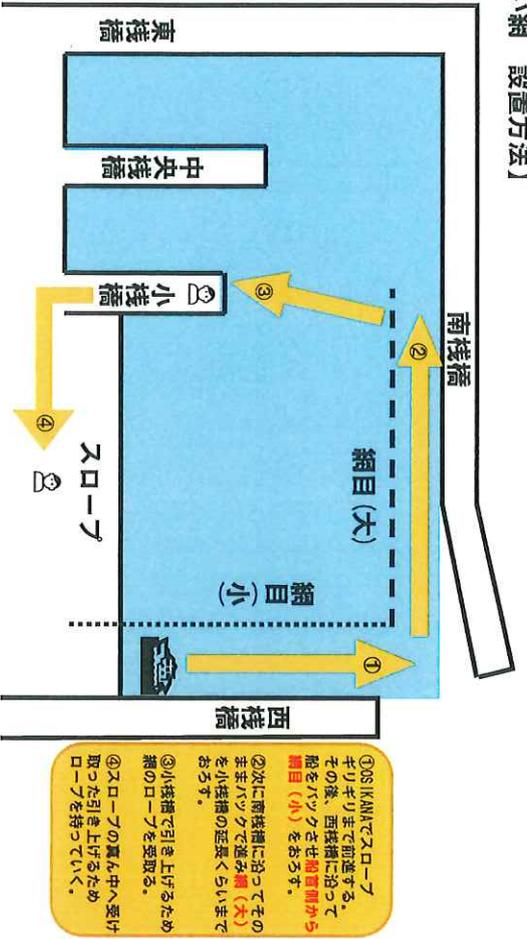


アカエイ

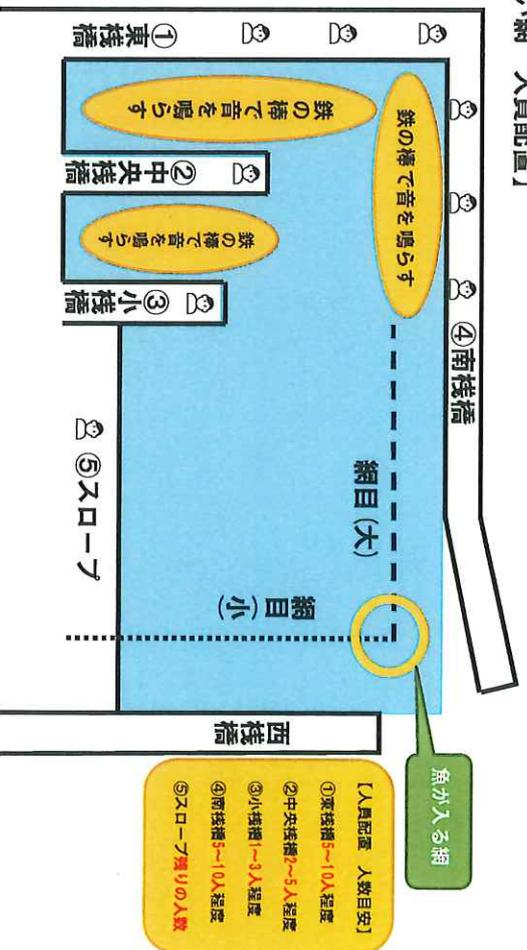
◆オコゼに刺されたら…流水で患部を洗浄する→棘を抜く→毒を吸い出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたら…海水で患部を洗う→毒針を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

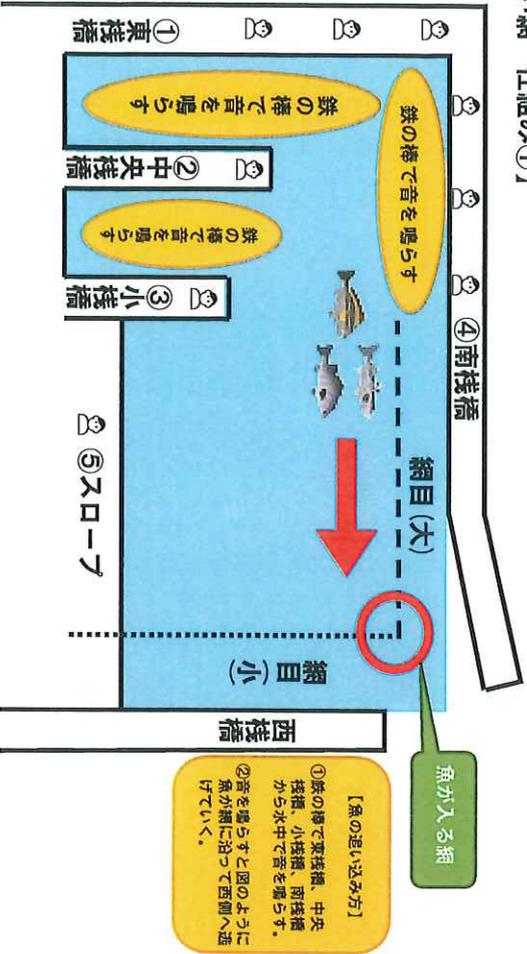
【困い網 設置方法】



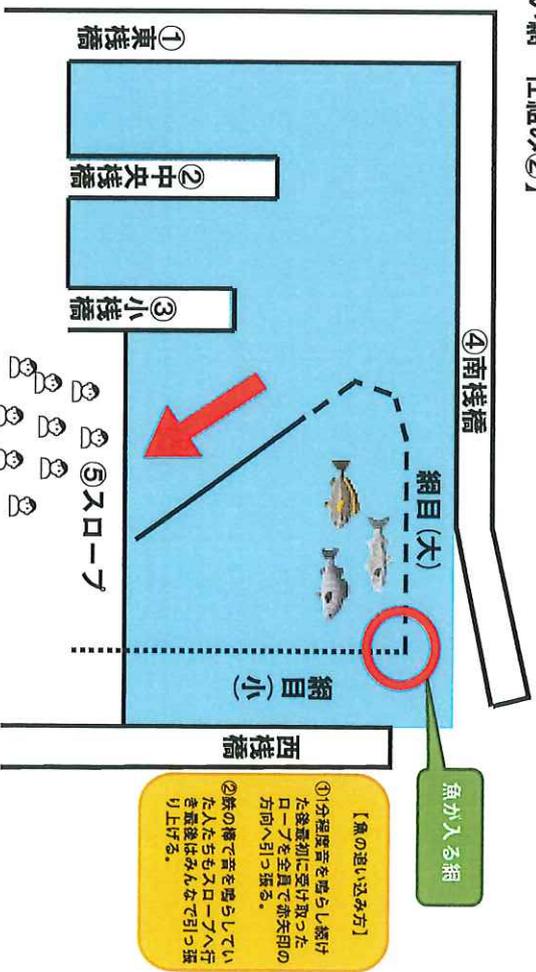
【困い網 人員配置】



【困い網 仕組み①】



【困い網 仕組み②】



囲い網 チェックシート

このチェックシートは、囲い網を円滑かつ効果的に行うために役立てたいと思いますので、次の諸項目についてご記入ください。

団体名	研修期間	月	日
-----	------	---	---

1. この研修を実施するにあたっての「めあて」や「目標」を記載してください。

2. 魚の追い込みをする研修生の人数を記載してください。

※ () 内の数字は最大人数です。設定人数より多くなる場合はローテーションになります。

東栈橋 (5) 【 】人、南栈橋 (10) 【 】人、中央栈橋 (8) 【 】

3. 指導者の役割分担 (配置) を記載してください。

- ・本部/責任者 (ハーバー待機) 【 】
- ・救護 【 】
- ・東栈橋 【 】 【 】 【 】 【 】
- ・中央栈橋 【 】 【 】 【 】 【 】
- ・南栈橋 【 】 【 】 【 】 【 】
- 【 】 【 】 【 】 【 】

4. その他 (研修生や活動中に気になることや要望などがあれば記載してください)

【所員記入欄 所員配置】

本部 ()、主担当 ()、副担当 ()、中央栈橋 () ()
東栈橋 () ()、西栈橋 () () ()
南栈橋 () () ()、フリー () ()